

## 『苦小牧市行政創革プラン』を策定しました！

詳 行政監理室 電 (32)6169

市では、平成27年度に策定した「苦小牧市行政改革プラン—NEXT STAGE—」<sup>ネクスト ステージ</sup>に基づき行政改革の取り組みを進めてきましたが、令和元年度をもって計画期間が終了したことから、新たに『苦小牧市行政創革プラン』を策定しました。

### ～苦小牧市は、「行政改革」から『行政創革』へ～

『行政創革（ぎょうせいそうかく）』とは、「行政創造改革」の略であり、これまでの「すでにあるもの」の改善を図る行政改革だけでなく、新たな発想や新たな手法により「まだないもの」を創り上げることを意識した取り組みを積極的に進めるものとして、行政改革に代わる新たな概念と位置付けるものです。

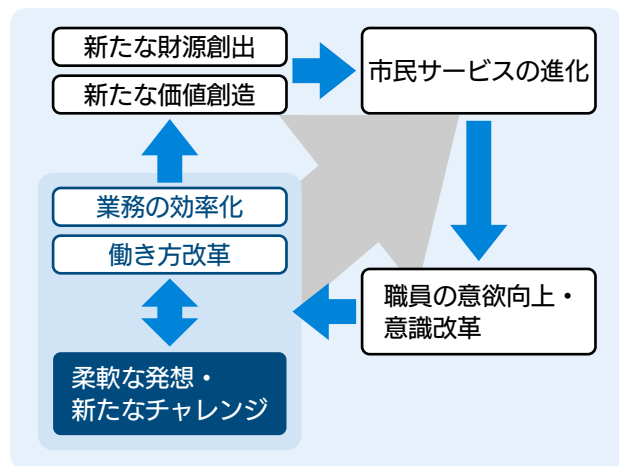
本市では、これまでの行政改革の取り組みにより、行政費用の抑制と市民サービスの向上の両面において大きな成果を上げてきました。

新たな時代を迎える中、今後は、これまでの行政改革の方向性を継承しながらも、行政改革という言葉の意味も含め、その考え方を一新し、発想の転換による『行政創革』を推進します。



### ◆ 行政創革のスパイラルアップ

本市では、行政創革の取り組みにより目指すべき理想の姿として『行政創革のスパイラルアップ』を掲げ、これを推進することとしています。



### ◆ 行政創革プランの取り組み期間

取り組み期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間としています。中間年の令和4年度には、プラン全体の見直しを行う予定です。



### ◆ 行政創革プランの7つのテーマ

行政創革プランでは、次の7つのテーマを設定し、全21項目の具体的な取り組みを進めます。

- ❶ 健全な財政運営に努めます！
- ❷ 市民サービスの進化を図ります！
- ❸ 協働を推進します！
- ❹ 公共施設のマネジメントを強化します！
- ❺ 民間活力の活用を進めます！
- ❻ ICT（情報通信技術）の活用を進めます！
- ❼ 職員の人材育成と「働き方改革」を進め、簡素で効率的な組織をつくります！

### ◆ 行政創革プランの主な取り組み項目など

- No.1 新たな財源創出に向けた取り組み**  
→ ガバメントクラウドファンディングの実施や企業版ふるさと納税の導入を進めます。
- No.4 市政情報の効果的な発信**  
→ 苦小牧市LINE公式アカウントやごみ分別アプリの導入、子育てポータルサイトの開設を進めます。
- No.16 AI（人工知能）の活用**  
→ 市役所内の問い合わせ業務にAIを活用する実証実験を行い、業務の効率化を進めます。



掲載内容は要約です。詳細は、[☞](#)をご覧ください。